

世界史B 14 ティムール帝国、サファヴィー朝

1, ティムール帝国(1370~1507)

14世紀後半の西アジア

┌マムルーク朝(1250~1517)---王家の世襲制廃止により軍閥の抗争で動揺。

└イル=ハン国(1258~1353)---チンギス=ハンの子孫がつぎつぎにハンに擁立され、分裂。

┌()1=ハン国(1225~1687)

┌西部---14世紀から、都市化、言語の()2化、宗教はイスラム化。

┌東部---遊牧生活を維持。「()3」と自称。

→1340年頃から東西分裂・モンゴルの諸ハン国の衰退

→()4❖a(位1370~1405)の帝国成立

❖a---モンゴルの子孫と称する。言語はトルコ化、宗教は[]5。名は「鉄」の意味。
チンギス=ハンの子孫ではないので、自身と子孫はハン位にはつかなかった。

┌チャガタイハン国にかわり首都()6=(青空とモスク→「青の都」=世界遺産)

└イラン(イル=ハン国滅亡後)を征服。

└マムルーク朝、キプチャク=ハン国と戦う。

└1398年インドに侵入してデリー・スルタン朝の()7朝を破る。

┌1402年()8の戦い---オスマン軍を破り、バヤズィト1世(1389~1402)を捕虜に。

1405年()9への遠征途上に病死。

┌モンゴル以来の騎兵に大砲、鉄砲、爆発物で重装備化。

└科学者・技術者・法学者などを重用し学芸・文化を保護。

┌サマルカンドにモスク、庭園、マドラサなど様々な施設を建設。

⇒「()10=イスラム文化」 トルコ語文学・ミニアチュール・建築・天文学・医学が発達

3代シャー・()11(位1409~47)のころ→最も安定

┌オスマン、明との関係を修復→交易

┌戦争で破壊された文化施設の復興に努力。[]12❖bを建設。

❖b---のちに4代となるウルグ・ベク(1394~1449)がサマルカンド郊外に建設。(1420年)

15世紀後半サマルカンド、()13の二政権に分裂

16世紀はじめに滅亡→一族のパーブル→インドで()14帝国建設。

1500年 シャイバーン朝(1500^99)がサマルカンド征服。1507年にはヘラートも。

2, サファヴィー朝(1501~1736)

1501年 ()15 1世(位1501~24)イラン西北部を統一。

┌シーア派の神秘主義()16教団指導者。王=シャーの称号。

└シーア派の十二()17派を国教とする。首都()18=東アゼルバイジャン

└()19=トルコ系遊牧騎兵団の軍事力。

┌16世紀はじめまでにイラン全土~アゼルバイジャンを支配→住民のシーア化。

イラン---シーア派の中心となる→オスマン帝国と抗争→イラクなど割譲

⇒建築・美術・工芸の「()20=イスラム文化」の発達

1514年 オスマンとのチャルディラーンの戦いに敗れ、北イラク、アゼルバイジャンを失う。



ティムール

()21 1世(位1587~1629)の時→最盛期

┌行政・軍制を改革→()22軍を新設、銃兵隊・砲兵隊を整備。封土制を採用。

→騎兵団の軍事貴族を抑え、奴隷身分からも優れた人材を登用

└オスマン帝国から()23(カスピ海西南)=絹の産地=を奪回する。

└ポルトガルから()24島❖cを奪回する。(1622)

❖c---ペルシャ湾の海峡の小島。インド洋交易の要衝。1515年ポルトガルが攻略・占領し要塞化。

└ヨーロッパ諸国との通商・国際化・多民族化の促進

→()25(カスピ海南岸産)を求めてインド・ポルトガル・オランダなどから多くの商人

└スンナ派のムガル帝国と交流→[]26語がムガル帝国の公用語となる。

┌()27に遷都(1597)

「王の広場」=「()28広場」=世界遺産 中心にモスク=「イマームモスク」、宮殿。

→「イスファハーンは[]29の半分」と言われる栄華

1722年 イラン系アフガン族(パシュトゥン族)、イスファハーンを占領→イラン分裂

3, 中央アジアの新勢力

キプチャク草原

アストラハン=ハン国(1466~1556)カスピ海北岸。トルコ系。首都アストラハン。1556年ロシアが併合。

クリム=ハン国(1430~1783) []30半島。チンギス=ハンの子孫が建国。ロシアが併合。

キプチャク草原東部

シャイバーン朝(1500^99) ()31族=トルコ系=による⇒ウズベキスタン

1507年ティムール朝を滅ぼす。その分岐

→()32=ハン国(1505~1920) 南下し、首都を西トルキスタンのブハラに移す。

→()33=ハン国(1512~1920) イラン北部ホラズムに分岐。首都ウルゲンチ、ヒヴァ。

→()34=ハン国(1710~1876) フェルガナ盆地。首都コーカンド。

キプチャク草原では()35族=トルコ系=のまとまり⇒カザフスタン



サマルカンド



同 天文台



イマーム広場(イスファハーン)

- ・明 ・絹 ・寛容 ・近衛 ・ルフ ・イラン ・トルコ(2) ・ブハラ ・ムガル ・シーア ・ヒヴァ ・カザーフ
- ・アンカラ ・ヘラート ・ホルムズ ・バルカン ・ウズベク ・イマーム(2) ・モグール ・トゥグルク ・チャガタイ
- ・アッパース ・ティムール ・タブリーズ ・サファヴィー ・コーカンド ・サマルカンド ・イスマール
- ・イスファハーン ・トゥルクマーン ・アゼルバイジャン



イスファハーン